

学校番号	学 校 名
48	土岐商業高等学校

学校教育目標	<ol style="list-style-type: none"> 職員と生徒が一体となり、あらゆる教育活動を通して、質実剛健・明朗闊達な校風を樹立します。 望ましい職業観を育成するとともに、誠実・勤勉で人間性豊かな産業人を育成します。 普通教育と商業に関する専門教育との調和のとれた指導を通して、生涯にわたって、創意をはたらかせ、進歩向上を図るための基礎的能力を育成します。 	
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 基礎基本の力の定着 「確かな学力」 「粘り強さ」	<ol style="list-style-type: none"> ICT機器を効果的に活用し、授業の実践と生徒理解の向上に努めます。 知識・技能の定着のため、適切・継続的に課す課題提示と進捗を確認します。また、必要に応じたオンライン対応により、コロナ禍における個々の能力に応じたケアを実施します。 朝読書や天声人語の書き写しを通じて、文章の読解力や語彙力を高めます。 	<ol style="list-style-type: none"> 各教科でのICT活用の状況を適宜調査し検証したうえで、生徒アンケートを実施し、「ICTを活用した授業内容についての理解度」の肯定的回答が85%以上となることを目標とします。 図書館の利用状況や作文模試により評価します。
2 地域連携の推進と指導 内容の充実 「共同・協働」 「コミュニケーション」 「課題解決力」	<ol style="list-style-type: none"> 地域資源を活かした、産学官連携を実践します。 <ul style="list-style-type: none"> 地域企業とのクラウドファンディングを利用した資金調達の仕組みの構築 Facebook、Instagramの開設により、地域連携ならびに特色ある取り組みを情報発信 地域に根ざした商業教育の実現のため、「土岐商ショップ」やイベント等への協力および出店による活動の場を有効活用します。 生徒主体の中学校出前授業や1日体験入学など中学校への働きかけを充実させます。 	<ol style="list-style-type: none"> クラウドファンディングの調達額、Facebook、Instagramのアクセス解析の状況を評価基準とし達成度を確認する。 取り組みについてアンケートを実施し商業の科目について「興味・関心度が向上した」と回答する生徒が85%以上となることを目標とします。
3 検定試験合格に向けての取り組みの充実と指導者の育成 「チャレンジ精神」 「専門性」	<ol style="list-style-type: none"> 計画的な補習や対策週間を実施し、コースごとに検定対策に関わる指導の強化体制を構築します。 自ら努力目標を掲げ、積極的に取り組み成長できる生徒の育成に努めます。 各専門コースの柱となる資格取得のバックアップ体制を構築します。また、教員間で情報を共有しコースの特色を生かした授業を実施します。 	<ol style="list-style-type: none"> 授業アンケートにおいて「検定対策に関わる指導の充実度」が85%以上となることを目標とします。 各コースの柱となる資格の取得率が前年度よりも高い数値になることを目指します。

<p>4 生徒指導は、基本的生活習慣を確立し、生徒の規範意識の高揚をはかる</p> <p>「基本的生活習慣」 「礼儀」 「思いやりの心」</p>	<p>①「遅刻防止」「挨拶」「身だしなみ」に重点を置き、全職員で指導します。</p> <p>②全職員による交通安全指導のみならず、MSリーダーズや生徒会、委員会活動を活用し、生徒同士の働きかけによって問題意識を深めます。</p> <p>③生徒の様子や人間関係の実態を的確につかむとともに、保護者と連携して生徒を見守ります。</p>	<p>①日常におけるマナーについて評価します。外部評価の項目「生徒の礼儀作法やマナー指導が積極的に行われている」の肯定的意見の回答が95%以上を目指します。また、年間遅刻累計200回以下を目指します。</p> <p>②交通事故件数ゼロを目指して指導します。</p> <p>③年2回の「ハイパーQU」や年3回の教育相談アンケートにより生徒の実態を把握します。</p>
<p>5 特別活動を通じて所属意識を高め、母校愛を育む</p> <p>「共同・協働」 「コミュニケーション」</p>	<p>①部活動を通して人間形成を行うために、常に目標を定めながら練習に工夫を凝らし技能を高める取組を行ないます。</p> <p>②委員会活動を活発にするとともに、自主的な活動となるよう支援します。</p>	<p>①各部活が上位入賞を目指します。また、途中退部者が出ないように良好な人間関係を築き、部活動加入率100%を目指します。</p> <p>②各行事終了後、アンケート調査により改善点を次に生かします。</p>
<p>6 進路指導は、自己の生き方を考え、主体的に進路を選択し実現することができる能力や態度の育成</p> <p>「自立・自律」 「向上心」 「適応力」</p>	<p>①望ましい勤労観・職業観を育成します。</p> <p>②学年に応じたキャリア教育を推進し、将来の夢や希望の実現に向けて主体的な進路選択ができるよう情報提供に努め、ガイダンスの機能を充実させます。</p> <p>③「行きたい大学」「就きたい職業」への進路を実現できるよう確かな学力や専門的な知識・技能を身に付けるための指導を充実させます。</p>	<p>①インターンシップの自己評価・企業アンケートにより、達成度を確認します。</p> <p>②感想文を判定基準とします。大学見学会や就職ガイダンスへの参加率100%を目指します。</p> <p>③朝のSHRで実施する一般常識や入社試験対策の小テストの正答率が7割を超えるように指導し、希望進路達成率100%を目指します。</p>